

内視鏡検査支援プログラム

取扱説明書

はじめに

- 1 安全にご使用いただくために
- 2 システム構成
- 3 システムの設置
- 4 使用方法
- 5 トラブルシューティング
- 6 主な仕様

本ソフトウェアの所在

PCのS/N : _____

インストーラーのS/N: _____

EW10-EG01

第3版：2024年1月9日

このたびは、弊社製品をお買上げいただきましてありがとうございます。
ご使用になる前に、本取扱説明書をよくお読みいただき、不測の事故を回避するとともに、機器の性能を十分に発揮して、ご使用くださるようお願い致します。

対象部位：上部消化管

警告／注意

警告

- 本ソフトウェアは食道扁平上皮癌および胃腫瘍性病変を検出できないことがあります。また、誤検出の結果を表示する場合があります。検査においては内視鏡画像全体を十分に観察し、医師の判断で処置を決定してください。

詳細につきまして、本取扱説明書の本文をご参照ください。

この取扱説明書の構成

はじめに

第 1 章 安全にご使用いただくために

第 2 章 システム構成

第 3 章 システムの設置

第 4 章 使用方法

第 5 章 トラブルシューティング

第 6 章 主な仕様

目次

警告／注意	ii
この取扱説明書の構成	iii
はじめに	1
取扱説明書について	1
取扱説明書の読み方	3
第 1 章 安全にご使用いただくために	1-1
1.1 機器の機能説明 (特徴)	1-1
1.2 安全性	1-3
1.2.1 人体への直接危害	1-3
1.3 取り扱い上および一般的な注意事項について	1-4
1.3.1 使用目的	1-4
1.3.2 臨床手技について	1-4
1.3.3 機能の喪失	1-4
1.3.4 機器の組み合わせ	1-4
1.3.5 機器の設置	1-5
1.3.6 保守	1-5
1.3.7 準備と点検	1-5
1.3.8 廃棄について	1-5
1.3.9 セキュリティ機能	1-5
1.3.10 ソフトウェアのバージョンについて	1-5
1.3.11 法定表示	1-6
1.4 安全および各種記号	1-7
第 2 章 システム構成	2-1
2.1 同梱品の確認	2-1
2.2 組み合わせて使用可能な機器	2-2
2.3 表示画面イメージ	2-3
第 3 章 システムの設置	3-1
3.1 インストール	3-1
3.1.1 インストール手順	3-1
3.2 機器の設置	3-3
3.2.1 接続手順	3-3
3.3 設定の変更	3-5
3.4 アンインストール	3-8
第 4 章 使用方法	4-1
4.1 はじめに	4-1
4.2 起動と使用前点検	4-2
4.3 使用方法	4-4

4.3.1	検出支援モード	4-4
4.3.2	ランドマークフォトチェッカー	4-6
4.4	終了	4-8
第 5 章	トラブルシューティング	5-1
5.1	トラブルシューティング	5-1
5.2	エラーメッセージ	5-3
第 6 章	主な仕様	6-1
6.1	設置環境（USB インストーラーにのみ適用）	6-1
6.2	動作保証	6-2
6.3	保証とアフターサービス	6-4
6.3.1	アフターサービス	6-4

はじめに

取扱説明書について

この取扱説明書は、内視鏡検査支援プログラム EW10-EG01 の操作方法、各種設定、システムの設置方法など、本製品を正しく安全に使用するために必要な事柄を記載しています。

本製品を初めてご使用になる方は、「取扱説明書」を必ずお読みいただき、実際の操作を行ってください。

また、「取扱説明書」を読み終わった後も製品の近くに保管してご利用ください。

内視鏡および各周辺機器の使用方法は、それぞれの取扱説明書を参照してください。

商標

この取扱説明書に記載されている会社名、商品名は、富士フイルム株式会社またはグループ各社の商標または登録商標です。

他社商標

その他、この取扱説明書に記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

(C) FUJIFILM Corporation 2022.

◆ 本製品の取扱説明書の構成

本製品は、内視鏡および周辺機器と組み合わせて使用します。「2.2 組み合わせて使用可能な機器」を参照してください。また、それらの機器の取扱説明書を参照してください。

注 意

- 「取扱説明書」の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
 - 「取扱説明書」の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
 - 弊社、または弊社の指定した業者以外による据付、移設、改造、保守および修理に起因する故障・損傷につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご了承ください。
 - 弊社が納入した製品以外の他社製品が原因で弊社の製品が受けた故障・損傷につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご了承ください。
 - 弊社指定の純正部品以外の補修部品の使用による改造、保守、修理などに起因する故障・損傷につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご了承ください。
 - 「取扱説明書」に記載されている注意事項や操作方法を守らなかった結果に基づく故障・損傷につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご了承ください。
 - 「取扱説明書」に記載されている電源、設置環境など、本製品の使用条件を逸脱した周囲条件による故障・損傷につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご了承ください。
 - 火災、地震、水害、落雷などの天災による故障・損傷につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご了承ください。
-
- 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」が改正され、排出事業者である医療機関が、自らの責任で産業廃棄物を処理することが義務づけられました。
 - 自ら処分できない場合は、都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に直接廃棄を委託することが必要となります。廃棄の委託を行う際は、法律に基づく処置をお願いします。

取扱説明書の読み方

◆ 表記の説明

この取扱説明書では、本文中で次の表記の規則を使っています。

表 記	説 明
警告	回避しないと、死亡または重傷を招く可能性がある危険な状況を説明します。
注意	回避しないと、軽傷または中程度の傷害を招く可能性がある危険な状況を説明します。 回避しないと、機器の損傷を招く可能性がある状況を説明します。
(1), (2), (3), ...	操作手順の連続する番号は、連続した操作を示します。
参考	注釈や補足を示します。
→	参照項目を示します。

ソフトウェア使用許諾

内視鏡検査支援プログラム EW10-EG01（以下、本ソフトウェアといいます。）の利用にあたっては、以下の条件に同意いただくことが使用の条件となります。また、本ソフトウェアを使用開始した時点で、以下の条件に同意したものとみなされます。

1. 富士フイルム株式会社、富士フイルムメディカル株式会社（総称して以下、富士といいます。）は、本ソフトウェアの日本国内における非独占的かつ譲渡不能な使用权を、以下の条件の下、本ソフトウェアの最終使用者（以下、ライセンサーといいます。）に許諾します。

1) 本ソフトウェアの権利の帰属

本ソフトウェアの著作権その他の知的財産権は富士に帰属します。但し、本ソフトウェアの中には富士が複数の第三者（総称して以下、ライセンサーといいます。）から再使用許諾権を得て利用しているソフトウェアが含まれます。

2) 遵守事項

ライセンサーは、本ソフトウェアにつき、次の事項を遵守し、これに違反した場合は本ソフトウェアの使用权を喪失します。

- ① 取扱説明書に規定している機器に組み込まれた以外の形態で本ソフトウェアを使用しない。
- ② 本ソフトウェア付属の取扱説明書に従って本ソフトウェアを使用する。
- ③ 本ソフトウェア及び本ソフトウェア付属の取扱説明書を第三者に開示、譲渡、貸与、再使用許諾しない。
- ④ 本ソフトウェア及び本ソフトウェア付属の取扱説明書を複製、改変しない。
- ⑤ リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、及び本ソフトウェアのソースコードを引き出すためのいかなる試みも行わない。
- ⑥ 本ソフトウェアを国外へ持ち出さず、移転しない。
- ⑦ 本ソフトウェアにより出力した加工医療画像・動画、出力データ、レポート、その他生成物（以下「本ソフトウェア生成物」という）を、富士の事前の許可なく、公表または第三者に開示してはならない。ただし、通常の診療行為において患者または臨床医療従事者に開示する場合、臨床医療従事者間の学会・研究会に必要な範囲で開示する場合を除くものとする。
- ⑧ 本ソフトウェア、本ソフトウェア生成物、本ソフトウェアの評価結果、取扱説明書を、競合する製品やサービスの開発・構築やベンチマークを行うために利用せず、また、いかなる場合でも富士と競合する製品やサービスの開発やベンチマークを行う第三者、富士が指定する以外の医療製品販売業者、市場調査会社等に開示してはならない。
- ⑨ 本ソフトウェアには富士及びライセンサーの機密情報が含まれていることを認識し、その機密性を保護し、少なくともライセンサー自身が自らの同様な機密情報を保護するのと同程度に本ソフトウェアの機密性を保護する。

2. 富士及びライセンサーは、本書に明示的に定めるほかは、本ソフトウェアに関する権利をライセンサーに譲渡、許諾するものではありません。
3. ライセンサーが本ソフトウェアの使用权を喪失した場合は、そのすべてのコピーを富士に返却するか又は富士の指示に従って廃棄するものとします。
4. 富士及びライセンサーは、ライセンサーに対して本書に定める権利を直接行使できるものとします。
5. 本ソフトウェアはライセンサーに現状のままで提供され、富士は、本ソフトウェアの市場性や特定目的への適合性、及び本ソフトウェアが第三者の権利を侵害しないことを保証せず、またいかなるテクニカルサポートを提供する義務も負いません。

6. 前項に拘らず、富士は、本ソフトウェアにつき、そのライセンシーへの納入から1年以内に発見されかつライセンシーから補正請求のあった瑕疵につき、無償でこれを補正します。ここにいう瑕疵とは富士が本ソフトウェアのパンフレット等に表示した機能・性能を欠いていることを意味します。
7. ライセンシーは、本ソフトウェアの使用に関してライセンシーが富士に提供した情報・提案・データ的一切（但し、個人情報保護法が定義する個人情報を除く。）について、富士が、富士の製品の評価・開発・改良のために利用することに予め同意します。なお、ライセンシーは、本ソフトウェアの不具合解析、その他業務を富士に委託する目的で提供する場合を除き、個人情報保護法が定義する個人情報を富士に提供しないものとします。
8. 富士は本ソフトウェア又は付属取扱説明書の使用に基づく間接的・結果的・偶発的あるいは特殊事情によるいかなる二次的な損害に対しても責任を負わず、かつ根拠如何を問わず本ソフトウェアに関して富士がライセンシーに対して損害賠償責任を負担する場合はライセンシーが富士に支払った本ソフトウェアの購入金額をもって富士が負担する賠償責任総額の上限とします。

以上

第 1 章 安全にご使用いただくために

1.1 機器の機能説明（特徴）

本ソフトウェアはプロセッサから受信した内視鏡画像を解析し、病変である可能性のある領域の抽出や、「ランドマーク」が適切に静止画撮影されたことを観察者に示すことで、内視鏡画像の観察を支援します。

- 検出支援モード：

- (1) 食道扁平上皮癌疑い領域検出支援モード

プロセッサから受信した内視鏡画像で画像解析を行い、食道扁平上皮癌である可能性のある領域を検出し、その結果をモニターの内視鏡画像に重畳して表示します。以下の条件において機能します。

- 観察モードが LCI または BLI
- 電子ズームを使用していない
- 光学ズームを使用していない、または光学ズームの拡大率を一定値以上に上げていない

- (2) 胃腫瘍性病変疑い領域検出支援モード

プロセッサから受信した内視鏡画像で画像解析を行い、胃腫瘍性病変である可能性のある領域を検出し、その結果をモニターの内視鏡画像に重畳して表示します。以下の条件において機能します。

- 観察モードが通常モードまたは LCI
- 電子ズームを使用していない
- 光学ズームを使用していない、または光学ズームの拡大率を一定値以上に上げていない

- ランドマークフォトチェッカー：

意図的なスコープ操作が要求される「ランドマーク」が適切に静止画撮影されていることを自動判定し、画面上に結果表示します。観察モードが通常モードまたは LCI のときに機能します。

注 意

- 本製品は病変を検出しない、または誤って病変を検出することがあります。このため、検査においては内視鏡の観察画像を十分に確認して、医師の判断で処置を決定してください。

注 意

- 本製品は、以下のような病変に対する有効性は確立しておらず、対象外となります。本製品を使用する際は、十分に注意してください。
 - 食道扁平上皮癌疑い領域検出支援モードにおける非対象病変
バレット食道腺癌他、食道扁平上皮癌以外の腫瘍
非上皮性腫瘍
 - 胃腫瘍性病変疑い領域検出支援モードにおける非対象病変
特殊型悪性上皮性腫瘍
非上皮性腫瘍

1.2 安全性

本製品を使用する前に、以下の注意事項をよく読み、正しく取り扱ってください。
本製品を正しく使用しないと、傷害を受けたり物的損害を起こすことがありますので、必ずお守りください。

警告

- 医療機器の使用・保守の管理責任は、使用者（病院・診療所）側にあります。また、医師および法的有資格者以外は、ご使用にならないでください。
- 本製品は、内視鏡の手技について十分なトレーニングを受けた医療従事者がご使用になることを前提としています。この取扱説明書には、臨床手技と内視鏡の技術面に関する記載はありません。

注意

- 機器を改造しないでください！
医療機器は品目ごとに製造販売の承認または認証が必要で、医療機器の「機能の変更」を行う場合は承認または認証の一部変更申請が義務づけられており、無断改造は禁じられています。
- 分解、改造により、人体への傷害、機器の破損になる可能性があり、また機能の確保ができなくなります。

1.2.1 人体への直接危害

警告

- 「2.2 組み合わせて使用可能な機器」に記載されていない周辺機器を使用した場合は、正常に機能しないだけでなく、感電したり、機器を破損したり、患者および術者を傷付けたりするおそれがあります。

1.3 取り扱い上および一般的な注意事項について

本製品を取り扱う際は、以下の注意事項を厳守してください。

1.3.1 使用目的

観察者が病変の存在診断を目的に取得する上部内視鏡画像において、食道扁平上皮癌および胃腫瘍性病変である可能性のある領域を抽出し同画像の観察者に示すことで、病変可能性部位への観察者の注意を喚起して、観察者が画像を解釈し存在診断することの支援を行ないます。「観察者による存在診断の補助」であり、本装置による検出結果のみで存在診断を行なうことは目的としていません。

1.3.2 臨床手技について

警告

- 本プログラムは、内視鏡の手技について十分な研修を受けた医療従事者がご使用になることを前提としております。取扱説明書には、臨床手技と内視鏡の技術面に関する記載はありません。臨床手技については、諸先生方のご専門の立場から判断していただくようお願いいたします。

1.3.3 機能の喪失

注意

- “パーソナルコンピューターとモニターのみが接続された構成”の場合、内視鏡による検査中にパーソナルコンピューターが停止すると内視鏡画像が表示されません。
→ “3.2.1 接続手順” および “5.1 トラブルシューティング”。

参考

- 「パーソナルコンピューター」とは、本書では本ソフトウェアをインストールするパーソナルコンピューターのことを指します。
- 内視鏡の操作方法については、内視鏡の取扱説明書を参照してください。

1.3.4 機器の組み合わせ

警告

- 本製品は、内視鏡および周辺機器と組み合わせて使用します。感電事故を防止するために、「2.2 組み合わせて使用可能な機器」に記載されていない機器は使用しないでください。

1.3.5 機器の設置

警告

- 機器を設置する際、感電や機器の落下事故を防止するため、それぞれの機器の取扱説明書を参照してください。

1.3.6 保守

注意

- 検査中や処置中に本ソフトウェアの保守や修理(アップデート等)を行わないでください。
- 外部メモリをパーソナルコンピューターに接続する前に、必ずウイルスチェックを実施してください。ウイルスチェックを実施しないで外部メモリを接続すると、ウイルスにより、本ソフトウェアが正常に動作しなくなるおそれがあります。

1.3.7 準備と点検

注意

- 不測の事故を回避し、機器の性能を十分に発揮してお使いいただくために、この取扱説明書の手順に従って、使用前の点検を行ってください。

1.3.8 廃棄について

注意

- USB インストーラーを廃棄する場合には法律に定められた手順に従ってください。詳細については、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。

1.3.9 セキュリティ機能

注意

- プロセッサにログインすると、電源を切るまで、プロセッサの操作を通してパーソナルコンピューターに記録された全ての情報へのアクセスが可能になります。離れる前に必ずログオフするか電源を切ってください。
- パスワードを忘れてプロセッサにログインできなくなった場合は、営業所または、お買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。




1.3.10 ソフトウェアのバージョンについて

- この取扱説明書はVer.1.2の操作について説明しています。ソフトウェアのバージョンは“診断支援モード”メニューで確認できます。設定メニューの表示と操作については“3.3 設定の変更”を参照してください。

1.3.11 法定表示

本製品の法定表示は“診断支援モード”の“ライセンス”メニューで確認できます。メニューの表示と操作については、“3.3 設定の変更”を参照してください。

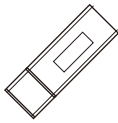
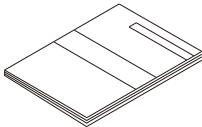
1.4 安全および各種記号

Symbol	説明
 SN	製造番号
	製造年
	製造業者

第 2 章 システム構成

2.1 同梱品の確認

開封後、以下のものが全てそろっていることを確認してください。不足や損傷がある場合には、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご連絡ください。

 <p>USB インストーラー</p>	 <p>取扱説明書</p>		
--	--	--	--

2.2 組み合わせて使用可能な機器

本ソフトウェアと組み合わせて使用可能な機器の例を以下の表に示します。

表 2.1 機器構成

種類 (利用可能機能)	機種名
プロセッサ	VP-7000、EP-6000、EP-8000
光源装置 ※1	BL-7000、LL-7000
内視鏡	800 システムスコープ (上部消化管用) 700 システムスコープ (上部消化管用) ※3 L600 システムスコープ (上部消化管用) ※4 6000 システムスコープ (上部消化管用) ※5 L580 シリーズスコープ (上部消化管用) ※4
キーボード ※2	DK-7000、DK-6000、DK-8000
パーソナルコンピューター	“6.2 動作保証” に示す仕様を満足するパーソナルコンピューター → “6.2 動作保証”
モニター	“6.2 動作保証” に示す仕様を満足するモニター → “6.2 動作保証”

※1 光源装置 BL-7000 は、EP-6000、EP-8000 では使用できません。また、光源装置 LL-7000 は、EP-6000 では使用できません。

※2 ソフトウェアのインストールでのみパーソナルコンピューターに接続して使用します。詳細は“3.1.1 インストール手順”を参照してください。ソフトウェアのインストール後はプロセッサに接続されたキーボードを使用してください。

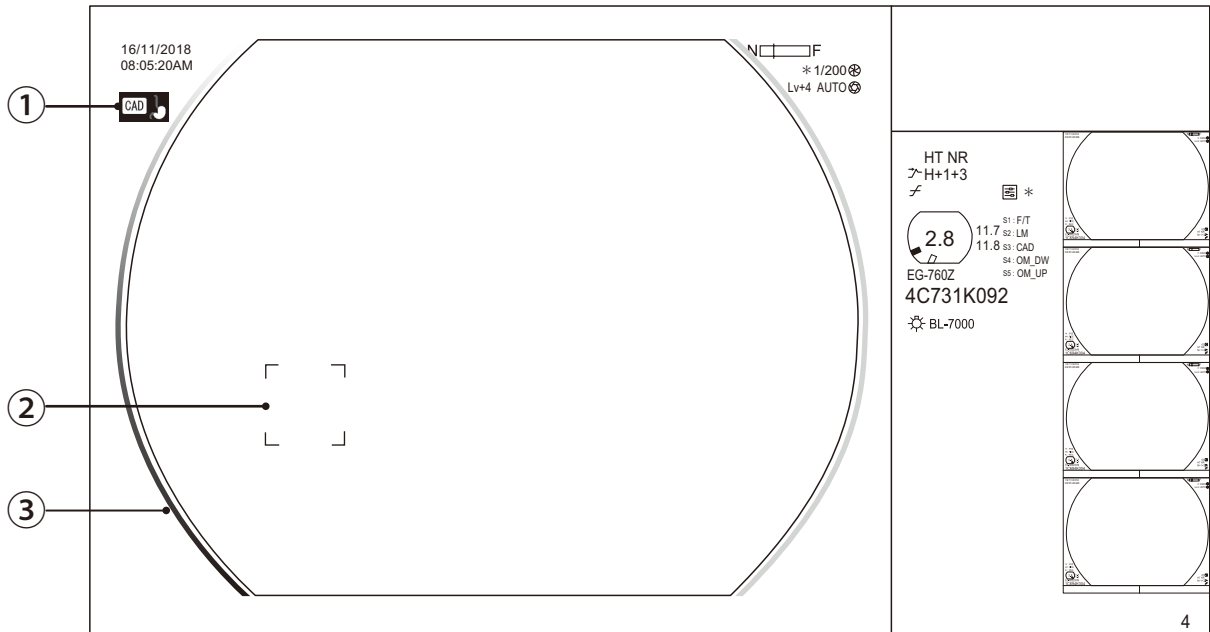
※3 EG-740UT は使用できません。

※4 L600 システムスコープおよび L580 シリーズスコープは、EP-6000 では使用できません。

※5 6000 システムスコープは、BL-7000、LL-7000、VP-7000、EP-8000 では使用できません。

2.3 表示画面イメージ

< 検出支援モード >



1	<p>CAD^{※1} 状態表示</p> <p>: 胃腫瘍性病変疑い領域検出支援モードのみ動作している状態です。観察モードが通常モードのときに表示されます。</p> <p>: 胃腫瘍性病変疑い領域検出支援モードと食道扁平上皮癌疑い領域検出支援モードが動作している状態です。観察モードが LCI のときに表示されます。</p> <p>: 食道扁平上皮癌疑い領域検出支援モードのみ動作している状態です。観察モードが BLI のときに表示されます。</p> <p>: OFF</p> <p>: CAD 不可</p>
2	<p>検出ボックス</p> <p>病変である可能性のある領域を示します。</p>
3	<p>ビジュアルアシストサークル</p> <p>内視鏡画像の四隅の境界線のうち、病変の可能性のある領域に近い境界線が点灯します。</p>

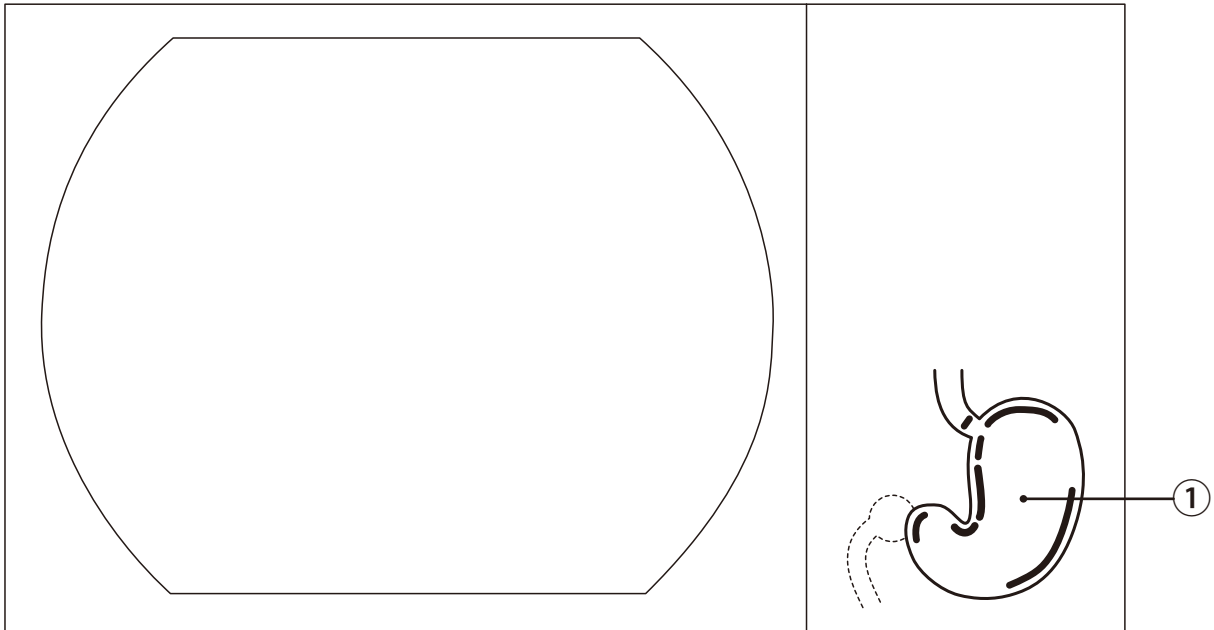
参考

- 使用するプロセッサによって、画面レイアウトや表示アイコンの位置など、表示画面イメージは多少異なります。
- 検出支援モードが ON のとき、ビジュアルアシストサークルによって、プロセッサが表示している以下の情報の一部が隠れます。
 - フォーカスマーター
 - 特殊光観察モードのアイコン

- 明るさレベル
- FICE セット

※1 CAD はコンピューター支援診断の一般用語です。(本ソフトウェアは 診断を行うことを目的としていません。)

< ランドマークフォトチェッカー >



1	<p>ランドマークマップ</p> <p>「ランドマーク」が適切に静止画撮影されたと判定されたときに、撮影された「ランドマーク」の位置を示します。</p> <p>→ "4.3.2 ランドマークフォトチェッカー "</p> <p>表示サイズを切り替えることができます。</p> <p>→ "3.3 設定の変更 "</p>
---	--

参考

- プロセッサーが表示する情報のうち、ランドマークフォトチェッカー機能が有効となっている場合は、以下の情報がランドマークマップによって隠されます。
 - PoP (VP-7000、EP-6000 の場合)
 - PoP1 (EP-8000 の場合)
 - マルチオブザベーションモード時の副観察画像 (EP-8000 の場合)
 - フリーズ時の観察動画
- 以下は、ランドマークマップサイズが「大」に設定されている場合のみ
 - ラップタイム
 - インデックス画像の 3 枚目と 4 枚目

第 3 章 システムの設置

3.1 インストール

注 意

- インストールを実施している間は、パーソナルコンピューターの電源を切らないでください。インストールが完了する前に電源を切った場合は、正常にインストールできません。
- インストール完了前に電源を切ったり、インストールに失敗した場合は再インストールを実施してください。
- インストールの完了後は、USB インストーラーをパーソナルコンピューターから取り外してください。
- インストールの完了後は、「診断支援モード設定 (EW10-EG01)」画面を参照し、適切な設定（日時設定など）になっているかを確認してください。
- インストール完了後、USB インストーラーを取扱説明書のバインダーに入れて保管してください。USB インストーラーは別の用途に使用しないでください。
- 本ソフトウェアは、EW10-SC01 V1.5、EW10-EC02 V2.1、EW10-VM01 V1.4、VT-1 V2.1 と同一のパーソナルコンピューターにインストール可能です。
- USB インストーラー以外の USB メモリーを接続しないでください。また、USB インストーラーはインストールやアンインストール以外の用途で使用しないでください。
- 外部メモリーをパーソナルコンピューターに接続する前に、必ずウイルスチェックを実施してください。ウイルスチェックを実施しないで外部メモリーを接続すると、ウイルスにより、本ソフトウェアが正常に動作しなくなるおそれがあります。

3.1.1 インストール手順

本ソフトウェアをインストールする際の作業フローです。

- (1) モニターとパーソナルコンピューターを DVI ケーブルで接続します。
- (2) パーソナルコンピューターとキーボードを USB ケーブルで接続します。
- (3) パーソナルコンピューターに USB インストーラーを接続します。
- (4) パーソナルコンピューターの電源を入れます。
- (5) モニターに「Start setup?」と表示されたら、キーボードの [Y] キーを押します。
- (6) 「Select language for setup.」と表示されたら、キーボードの [J] キーを押します。

- (7) 「Setup completed normally.」と表示されたら、インストール完了です。USB インストーラーとキーボードを取り外し、パーソナルコンピュータの電源を切ります。

参考

- USB インストーラーを取り外さずに、パーソナルコンピュータを再起動すると、インストール画面が再度表示されます。その場合は、「Cancel」を選択し、USB インストーラーを取り外して再起動してください。
- インストールが正しく行われない場合は、エラーメッセージが表示されます。エラーメッセージを確認し、対処してください。
→ “5.2 エラーメッセージ”。
- インストール後、USB インストーラーは取扱説明書と一緒に大切に保管してください。

3.2 機器の設置

3.2.1 接続手順

本製品を接続する際の作業フローです。

プロセッサと光源装置との接続方法については、それぞれの取扱説明書を参照してください。

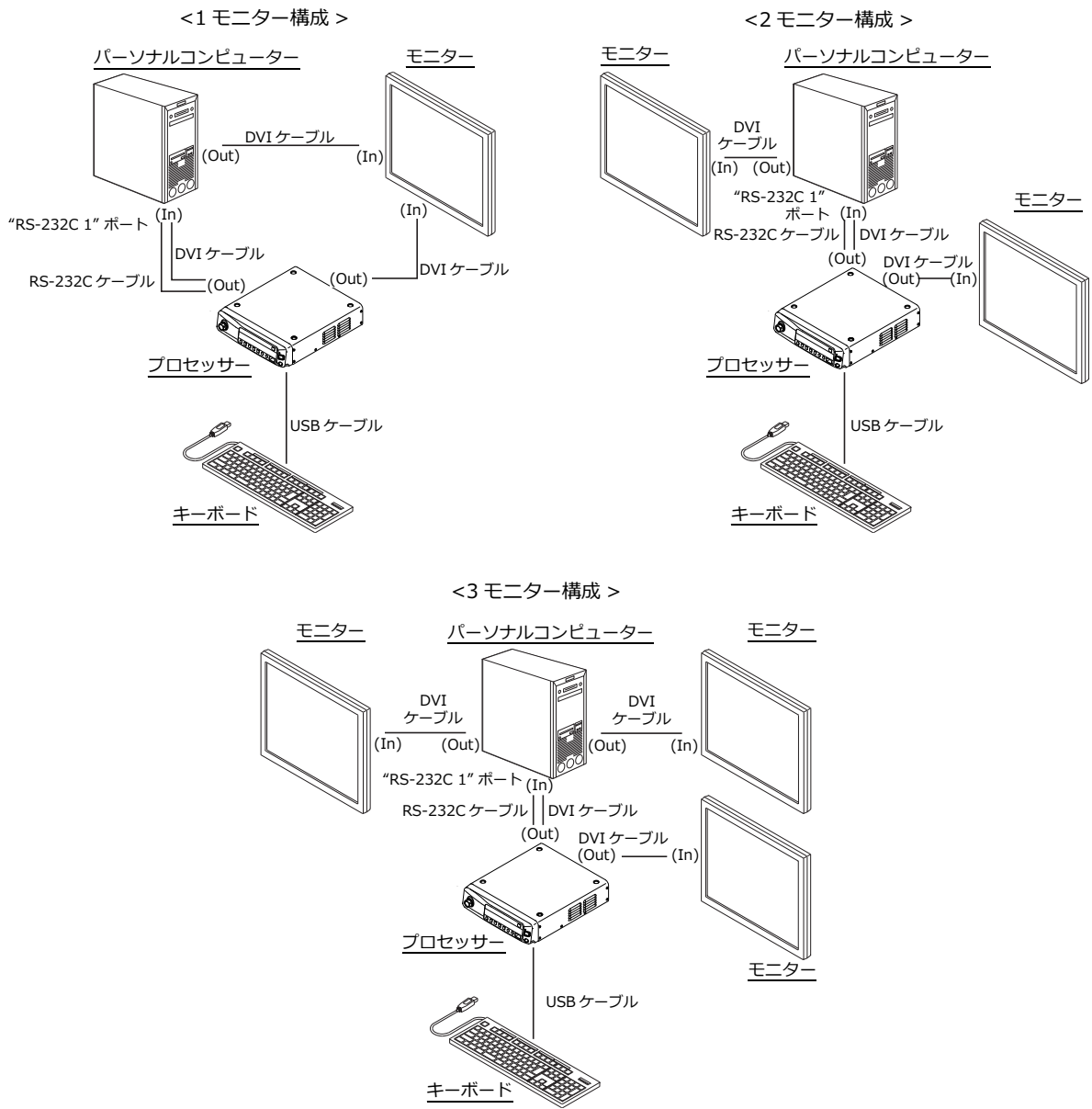
- (1) プロセッサとパーソナルコンピューター（DVI IN 側）を DVI ケーブルで接続します。
- (2) プロセッサとパーソナルコンピューターをモニターに接続します。
パーソナルコンピューターに DVI 出力が複数ある場合は、DVI-1 側へ接続してください。
- (3) プロセッサとパーソナルコンピューターを RS-232C ケーブルで接続します。RS-232C ポートが複数ある場合、パーソナルコンピューターは「RS-232C 1」のコネクタに接続します。
- (4) キーボードは（パーソナルコンピューターではなく）プロセッサに接続されていることを確認します。

注 意

- 本製品を施設外のネットワークに接続しないでください。
- プロセッサとパーソナルコンピューターがそれぞれモニターに接続されていることを確認してください。

参考

- パーソナルコンピューターとモニターの上に画像切り替え機などを入れた場合、モニターに表示される画像が乱れたり、表示されない場合があります。そのような場合、パーソナルコンピューターとモニターは直結してください。
- パーソナルコンピューターに複数の DVI OUT があるとき、医師が観察に使用する主モニターは、パーソナルコンピューターの DVI OUT1 に接続してください。
- 「6.2 動作保証」を満足しないモニターを接続した場合、モニターに表示される画像が乱れたり、表示されない場合があります。
- ビデオレコーダーや DVI-SDI コンバーターなどの機器を接続する場合は、「6.2 動作保証」のモニター仕様を満たす機器のみを接続し、それ以外の機器はパーソナルコンピューターに接続しないでください。
- 2 モニター構成の場合、プロセッサとパーソナルコンピューターをそれぞれのモニターに接続してください。
- RS-232C ポートが複数ある場合、RS-232C ケーブルはパーソナルコンピューターの「RS-232C 1」ポートに接続してください。



3.3 設定の変更

参考

- 使用するプロセッサによって、設定画面の表示および操作手順が異なります。詳細については、プロセッサの取扱説明書を参照してください。

- (1) プロセッサに接続されているキーボードの [システム] キーを押します。「システム設定」の画面が表示されます。
- (2) [←] と [→] キーを使って「表示」タブを選択します。
または、[↑] キーと [↓] キーを使って「システムの拡張」タブを選択した後、[Enter] キーを押します。
- (3) [↑] と [↓] キーを使って EX-WS の「設定」を選択し、[Enter] キーを押します。「EX-WS システム設定」の画面が表示されます。



参考

- 本画面が表示されない場合は、RS-232C ケーブルの接続を確認してください。
- パーソナルコンピュータに DVI 出力が複数あり、DVI-1 および DVI-2 の両方をモニターに接続している場合は、DVI-1 側のみに本画面が表示されます。

- (4) [←] と [→] キーを使って「診断支援モード設定 (EW10-EG01)」を選択し、[Enter] キーを押します。

「診断支援モード設定 (EW10-EG01)」の画面が表示されます。

- (5) 設定項目を選んで [Enter] キーで設定値を変更します。
- (6) 設定値を変更後、[Enter] キーを押すとカーソルが次の設定項目に移動します。
- (7) 設定を反映するには、「設定終了」にカーソルを合わせ、[Enter] キーを押します。

参考

- 設定を変更した場合は、必ず「設定終了」を行ってください。「設定終了」をしないと設定値が反映されません。

設定項目については、以下のとおりです。

設定カテゴリー	設定項目	設定値 (* は初期値)	説明
共通設定	検査開始状態	ON *	検査開始時の検出支援モードの ON/OFF を切り替えます。
		OFF	
	音量設定	大 中 * 小	「検出支援モード設定」および「ランドマークフォトチェッカー設定」のサウンド（報知音）の音量を調節します。
検出支援モード設定	検出ボックス強調	強	検出支援モードでの検出ボックスの太さを調整します。
		中 *	
		弱	
	ビジュアルアシストサークル	ON *	検出支援モードでのビジュアルアシストサークルの表示／非表示を切り替えます。
OFF			
サウンド	ON *	病変である可能性のある領域を検出したときに鳴る報知音の ON/OFF を切り替えます。	
	OFF		

設定カテゴリー	設定項目	設定値 (* は初期値)	説 明
ランドマーク フォトチェッ カー設定	ランドマーク フォトチェッ カー	ON *	ランドマークフォトチェッカー機 能の ON/OFF を切り替えます。
		OFF	
	ランドマーク マップサイズ	大*	ランドマークマップの表示サイズ を切り替えます。
		小	
	サウンド	ON *	ランドマークが適切に静止画撮影 された際に鳴る報知音の ON/OFF を切り替えます。
		OFF	
エラー情報	履歴表示	表示のみ	エラーが発生した日と内容が表示 されます。
	履歴削除	はい	エラー情報履歴を削除するかどうか を選択します。
いいえ			
システム情報	日時	表示のみ	現在の日時が表示されます。
	ソフトウェア バージョン	表示のみ	現在のソフトウェアバージョンが 表示されます。
	シリアル番号	表示のみ	本製品のシリアル番号が表示され ます。(設定されている場合のみ)
	UDI	表示のみ	現在のソフトウェアの UDI が表示 されます。
	ライセンス	表示のみ	法定表示とライセンス情報が表示 されます。

3.4 アンインストール

本ソフトウェアをアンインストールする際の作業フローです。

- (1) パーソナルコンピューターとキーボードを USB ケーブルで接続します。
- (2) パーソナルコンピューターに USB インストーラーを接続します。
- (3) パーソナルコンピューターの電源を入れます。
- (4) モニターに「Start setup?」と表示されたら、キーボードの [Y] キーを押します。
- (5) 「Already installed. What do you want to do?」と表示されたら、キーボードの [U] キーを押します。
- (6) 「Uninstall completed normally.」と表示されたら、アンインストール完了です。USB インストーラーとキーボードを取り外し、パーソナルコンピューターの電源を切ります。

参考

- アンインストールする際は、インストール時に使用したUSBインストーラーが必要になります。
- アンインストールする場合に備えて、どのUSBインストーラーでインストールしたかを取扱説明書の表紙に記録しておいてください。

第 4 章 使用方法

4.1 はじめに

本製品を使用する際の作業フローです。フローに従って取扱説明書を参照してください。

- 1 使用前の点検をします。
→「4.2 起動と使用前点検」
- 2 検査を開始します。
- 3 検出支援を実施します。
→「4.3.1 検出支援モード」
- 4 ランドマークが撮影されているかの判定を実施します。
→「4.3.2 ランドマークフォトチェッカー」
- 5 検査を終了します。
→「4.4 終了」

参考

- VT-1 が同居している場合には、VT-1 の画面上で検査開始／終了を指示します。プロセッサからの検査開始／終了の操作は機能しませんので、ご注意ください。

4.2 起動と使用前点検

警告

- 本ソフトウェアは医師の管理下で行われる上部内視鏡検査の診断支援のために使用されることを意図します。この取扱説明書に記載されている目的以外には使用しないでください。診断は諸先生方の責任のもとに行ってください。
- “2.2 組み合わせて使用可能な機器”に記載されていない内視鏡および周辺機器を使用した場合は、正常に機能しないだけでなく、感電したり、機器を破損したり、患者および術者を傷付けたりするおそれがあります。
 - 「2.2 組み合わせて使用可能な機器」
 - 「6.2 動作保証」
- 本製品は、内視鏡の手技について十分な研修を受けられた方がご使用になることを前提としております。この取扱説明書では、臨床手技には立ち入っておりません。臨床手技については、諸先生方のご専門の立場から判断していただくようお願いいたします。

- (1) 本ソフトウェアと組み合わせて使用可能な内視鏡をプロセッサに接続します。







参考

- 使用可能な内視鏡であることを確認してください。

- (2) 本ソフトウェアがインストールされたパーソナルコンピューター、モニター、プロセッサおよび光源装置の電源を入れます。

- (3) プロセッサの設定どおりに、「診断支援モード」を割り当てたスコープスイッチ、マルチボタンまたはフットスイッチのいずれかを押し、画面左上の CAD 状態表示アイコンが正しく切り替わることを確認します。

観察モードによって、切り替わるパターンが異なります。

- 観察モードが通常モードの場合： → 
- 観察モードが LCI の場合： → 
- 観察モードが BLI の場合： → 

参考

- 以下の条件のときに、診断支援モードを ON にできます。
 - 検査中である。
 - プロセッサの画像出力が Full-HD になっている。
 - 互換性のある内視鏡が接続されている。
 - 電子ズームを使用していない。
 - 光学ズームを使用していない、または光学ズームの拡大率を一定値以上に上げていない。
- “2.2 組み合わせて使用可能な機器”。

- プロセッサが VP-7000 の場合
「PoP On」が「OFF」になっている。
「PoP On」が「ON」、かつ「PoP Layout」が「主：内視鏡／副：PoP」になっている。
 - プロセッサが EP-8000 の場合
「PoP1」「PoP2」の設定によらず、メイン画面エリアに内視鏡画像が表示されている。
 - プロセッサの設定で「マスクタイプ」が「タイプ 1」になっている。
 - CAD 状態表示アイコンが表示されない場合は、以下のいずれかの対処を行ってください。
 - モニターにパーソナルコンピューターからの画像が表示されていることを確認してください。
 - DVI ケーブルの接続を確認してください。
それでも表示されない場合は、パーソナルコンピューターが故障している可能性があります。検査を継続する場合は、モニターをプロセッサ直結に切り替えてください。
 - 「診断支援モード」を割り当てたスイッチを操作しても CAD 状態表示アイコンが切り替わらない場合は、RS-232C ケーブルの接続を確認してください。
- (4)** 検出支援モードにおいて、病変である可能性のある領域を検出した際に報知音を必要とする場合には、「診断支援モード設定 (EW10-EG01)」-「検出支援モード設定」の「サウンド」が「ON」に設定されている事を確認します。

4.3 使用方法

注意

- 体内に内視鏡を挿入していなくても床面などを病変と誤認し、検出する場合があります。その場合は、診断支援モードを OFF にします。
- 2 モニター構成をご利用の場合、本ソフトウェアがインストールされているパーソナルコンピュータに接続したモニターにのみ表示されます。
- 観察時は、検出ボックス、報知音およびランドマークフォトチェッカーに頼らず、観察画像全体を十分に確認してください。
- 本製品は病変を検出しない、または誤って病変を検出することがあります。このため、検査においては内視鏡の観察画像を十分に確認して、医師の判断で処置を決定してください。
- 本製品は、以下のような病変に対する有効性は確立しておらず、対象外となります。本製品を使用する際は、十分に注意してください。
 - 食道扁平上皮癌疑い領域検出支援モードにおける非対象病変
バレット食道腺癌他、食道扁平上皮癌以外の腫瘍
非上皮性腫瘍
 - 胃腫瘍性病変疑い領域検出支援モードにおける非対象病変
特殊型悪性上皮性腫瘍
非上皮性腫瘍




参考

- プロセッサの機能を使って保存した静止画には、検出支援モードおよびランドマークフォトチェッカーで表示されるアイコン等 (CAD 状態、検出ボックス、ビジュアルアシストサークル、ランドマークマップ) は記録されません。

4.3.1 検出支援モード

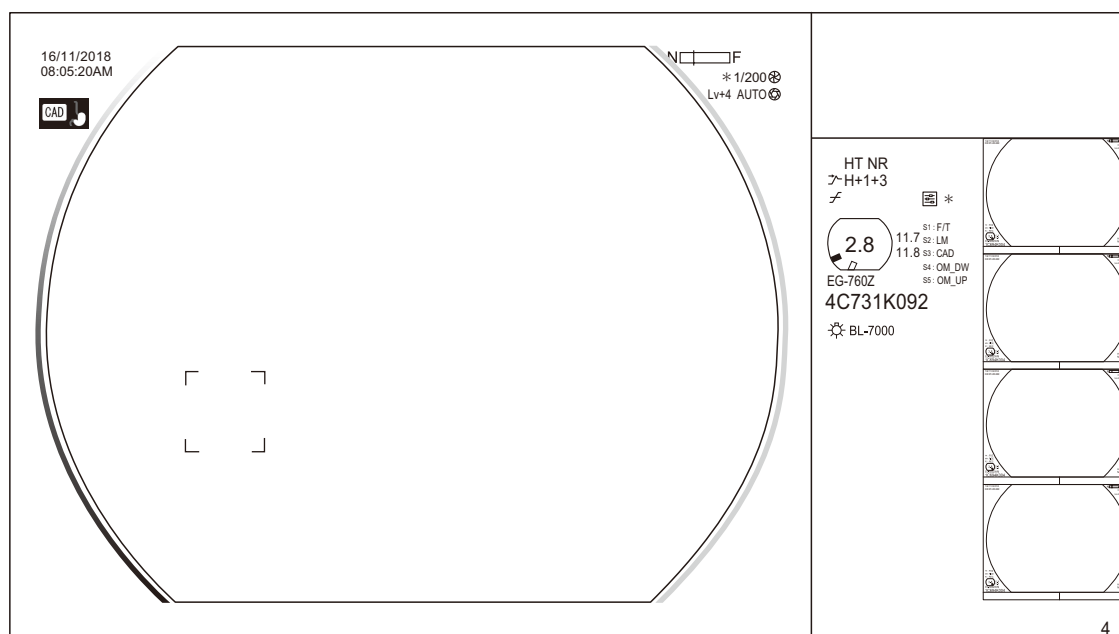
- 食道扁平上皮癌疑い領域検出支援モード
プロセッサから受信した内視鏡画像で画像解析を行い、食道扁平上皮癌である可能性のある領域を検出し、その結果をモニターの内視鏡画像に重畳して表示します。以下の条件において機能します。
 - 観察モードが LCI または BLI
 - 電子ズームを使用していない
 - 光学ズームを使用していない、または光学ズームの拡大率を一定値以上に上げていない
- 胃腫瘍性病変疑い領域検出支援モード
プロセッサから受信した内視鏡画像で画像解析を行い、胃腫瘍性病変である可能性のある領域を検出し、その結果をモニターの内視鏡画像に重畳して表示します。以下の条件において機能します。
 - 観察モードが通常モードまたは LCI
 - 電子ズームを使用していない
 - 光学ズームを使用していない、または光学ズームの拡大率を一定値以上に上げていない

(1) プロセッサの検査ボタン (EXAM. ボタン) を押して検査を開始し、光源のライトを点けます。

- (2) プロセッサの設定どおりに、「特殊光簡易切替」を割り当てたスコープスイッチ、マルチボタンまたはフットスイッチのいずれかを押して、画面右上に表示された観察モードを「LCI」、「BLI」または通常モードに切り替えます。
- (3) プロセッサの設定どおりに、「診断支援モード」を割り当てたスコープスイッチ、マルチボタンまたはフットスイッチのいずれかを押して、画面左上に表示された CAD 状態表示アイコンを ,  または  にします。

参考

- システム設定画面の「診断支援モード設定 (EW10-EG01)」 - 「共通設定」 - 「検査開始状態」を「ON」にしておく、プロセッサの検査ボタン (EXAM. ボタン) を押して検査を開始した時、検出支援モードが自動的に ON になります。
- (4) 病変である可能性のある領域を検出した場合、検出ボックスが表示され、報知音が鳴ります。病変である可能性のある領域を内視鏡画像の隅に検出したとき、その領域に近い四隅のいずれかのビジュアルアシストサークルが点灯します。



注 意

- 画面上に表示されていない病変は検出されません（例えば、ひだの裏側にあるものや水没しているもの）。また、処置中や処置後の病変など、病変によっては検出できない場合があります。
- 同じ大きさの病変であっても、内視鏡と病変との距離に関して画面上に表示される病変の大きさが変わり、病変を検出できない場合があります。
- 画面上に表示される病変の形状によっては、病変を検出できない場合があります。
- 画面上に表示される病変の映り方（角度や方向など）によっては、病変を検出できない場合があります。
- 内視鏡画像が観察に不適切な状態の場合、病変は検出されません。
例えば、以下の場合です。
 - ハレーションを起こしている画像
 - 暗い画像
 - 送水中の画像
 - 色素散布している画像
- 画面上に表示されていない病変は検出されません（例えば、ひだ、出血、残液、残渣に隠れているもの）。検出ボックスの表示結果や表示箇所に頼らず、観察画像全体を十分に確認してください。
- 切除前の病変に検出ボックスが表示されていても、切除後の病変には検出ボックスが表示されない場合があります。
- 内視鏡の移動が早すぎる場合は、病変を検出できない場合があります。
- 1つの病変に複数の検出ボックスを表示する場合や、複数の病変に1つの検出ボックスを表示することがあります。

参考

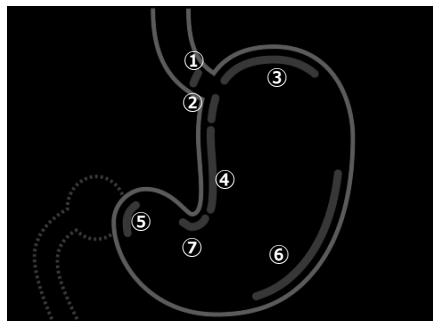
- 病変の切除中に、切除により粘膜から離れた病変も検出される場合があります。その際に検出ボックスや報知音を消したい場合は、診断支援モードを OFF にします。
- 病変である可能性のある領域を検出した場合、報知音が約 1 秒間鳴ります。その間に検出ボックスが消える場合があります。
- プロセッサのパネルボタンを押したときに画面上部に表示される情報（「マスクタイプ」など）の上に検出ボックスが表示される場合があります。

4.3.2 ランドマークフォトチェッカー

- (1) ランドマークフォトチェッカー機能は、「ランドマークフォトチェッカー設定」-「ランドマークフォトチェッカー」が「ON」に設定されている場合に使用できます。CAD 状態表示に連動して、有効/無効が切り替わります。
→「3.3 設定の変更」
- (2) プロセッサの設定どおりに、「特殊光簡易切替」を割り当てたスコープスイッチ、マルチボタンまたはフットスイッチのいずれかを押して、画面右上に表示された観察モードを「LCI」または通常モードに切り替えます。

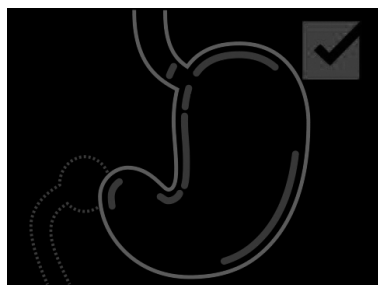
- (3) 内視鏡で静止画を撮影すると、ランドマークが適切に撮影されているかをチェックします。ランドマークが適切に撮影されていると判定された場合、ランドマークマップにおいて、該当するランドマークが点灯します。

対象ランドマークは以下のとおりです。



- ①食道胃接合部
- ②噴門近接
- ③噴門穹窿部
- ④胃体部小弯反転
- ⑤幽門輪近接
- ⑥胃体部大弯見下ろし
- ⑦胃角

- (4) 手順(3)で示した①～⑦のランドマークがすべて点灯すると、以下のようなコンプリート状態となります。



注 意

- 本機能は、観察が必要なすべてのランドマークが撮影されたことを判定するものではありません。観察時は内視鏡画像全体を十分に観察し、医師の判断で必要な撮影を行ってください。
- ランドマークマップのコンプリート状態は、上部消化管すべてを十分に観察できたことを保証するものではありません。
- ランドマーク判定では、静止画が撮影された位置を判定しますが、誤判定する可能性があります。観察時はランドマークマップだけに頼らず、撮影対象に見落としがないことを十分に確認してください。
- 撮影された静止画像が以下の状態である場合、正常に判定されない可能性があります。
 - ハレーションを起こしている画像
 - 暗い画像
 - 送水中の画像
 - 内視鏡が動いていることによるボケ画像
 - 送気不足、洗浄不足
 - ランドマークが映っていない
 - ランドマークが遠い、近すぎる、または中心に収まっていない
 - 色素散布、染色
 - 処置中、処置後
 - 特殊な形状の臓器

4.4 終了

注意

- カートをご使用の場合、パーソナルコンピューターの電源を切る前に、カートの電源を切らないでください。

- (1) 内視鏡を抜去します。
- (2) プロセッサの検査ボタン (EXAM. ボタン) を長押しして、検査を終了します。
- (3) 内視鏡をプロセッサから取り外します。
- (4) パーソナルコンピューターの電源を切ります。

第 5 章 トラブルシューティング

5.1 トラブルシューティング

注 意

- 検査中にもしパーソナルコンピューターが止まったり、または内視鏡画像が表示されなくなった場合は、以下の手順を行ってください。

- (1) プロセッサとモニターをDVIケーブルで直接に接続し、内視鏡画像をモニターに表示します。
- (2) 検査を終了した後、パーソナルコンピューターの再起動、または以下の対応策を行って確認してください。

症 状	考えられる要因	対処方法
電源ボタンを「入」にしてもパーソナルコンピューターが作動しない(パーソナルコンピューターの電源表示灯が点灯しない)	1) パーソナルコンピューターのメインスイッチが「切」になっている 2) 電源コードが正しく接続されていない 3) 電源コードの不良 4) コンセントの不良 5) ヒューズが切れている	1) パーソナルコンピューターのメインスイッチを「入」にします。 2) 電源コードの接続をし直します。 3) 電源コードを点検してください。 4) 定格電圧が供給されているか確認してください。 5) パーソナルコンピューターの販売業者へご相談ください。 6) 問題が解決しない場合、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。

症 状	考えられる要因	対処方法
映像が出ない	1) 内視鏡、プロセッサおよびパーソナルコンピューターの接続が不完全 2) モニターの電源が「切」になっている 3) モニターの入力選択があっていない 4) モニターが接続されていない 5) プロセッサの出力設定をSXGAにしていた	1) 内視鏡、プロセッサおよびパーソナルコンピューターを接続し直します。 2) モニターの電源を「入」にします。 3) INPUT を接続したラインにあわせます。 4) モニターをケーブルで接続します。 5) 表示された画面の指示に従って、プロセッサの出力設定を Full-HD に変更してください。 6) 問題が解決しない場合、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。

参考

- プロセッサと光源装置の電源を再投入する場合は、5秒以上待ってから行ってください。
- プロセッサの操作方法については、プロセッサの取扱説明書を参照してください。
- 光源装置の操作方法については、光源装置の取扱説明書を参照してください。

5.2 エラーメッセージ

異常が起これるとモニターにエラーメッセージを表示します。

参考

- ご相談の際は、エラーメッセージおよびエラーメッセージと一緒に表示されるエラーコードを窓口にお伝えください。
- エラー情報の履歴は、設定画面で確認できます。
→ “3.3 設定の変更”。
- インストーラーに関するエラーメッセージ（エラーコードが表示されていないもの）はインストール時にのみ表示され、設定画面からは確認できません。

エラーコード	エラーメッセージ	考えられる要因	対処方法
EGUA2001	エラー情報の履歴が残っていません。削除は不要なため、実施しませんでした。「Enter」キーを押してください。	エラー履歴がない	キーボードの [Enter] キーを押してください。
ECHD2002	内部メモリーにアクセスできない状態になりました。電源を入れ直してください。再度表示された場合、サービスセンターにご相談ください。	内部メモリーにアクセスできなかった	パーソナルコンピュータの電源を入れ直してください。頻発する場合は、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。 ^{※1}
ECHD2003	プロセッサとの通信に失敗しました。RS-232C ケーブルが接続されているかご確認し、電源を入れ直してください。再度表示された場合、サービスセンターにご相談ください。	プロセッサに RS-232C ケーブルが接続されていない	RS-232C ケーブルの接続を確認し、パーソナルコンピュータの電源を入れ直してください。頻発する場合は、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。 ^{※1}
ECHD2004	ファンが停止している可能性があります。電源を入れ直してください。再度表示された場合、サービスセンターにご相談ください。	ファンが停止している	パーソナルコンピュータの電源を入れ直してください。頻発する場合は、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。 ^{※1}
-	There is an unsupported application on the installation destination PC. Make sure the software is compatible. Setup cannot be performed.	同一のパーソナルコンピュータにインストールされているソフトウェアのバージョンが古いため、インストールできない。	インストールされているソフトウェアを最新のバージョンにしたうえで、再度インストールしてください。

エラーコード	エラーメッセージ	考えられる要因	対処方法
-	Already installed "EW10-EG01 XXXX" Cannot install to this PC. Setup cannot be performed.	インストールに使用した USB インストーラーとは別のものを使用してアンインストールしようとした。	インストールに使用した USB インストーラーを使用してアンインストールしてください。

※1 ご相談の際は、エラーメッセージおよびエラーメッセージと一緒に表示されるエラーコードを窓口にお伝えください。

第 6 章 主な仕様

6.1 設置環境（USB インストーラーにのみ適用）

◆ 動作環境

温度	+10 °C ~ +40 °C
湿度	30 ~ 90%（結露状態を除く）

◆ 保管環境

温度	-20 °C ~ +60 °C
湿度	10 ~ 90%（結露状態を除く）

6.2 動作保証

パーソナルコンピューターおよびモニターは、以下の仕様を推奨します。

<汎用コンピューター仕様 1 >

パーソナルコンピューター	<ul style="list-style-type: none"> • CPU: Intel Xeon E3-1505M (Intel Quick Sync Video に対応) • CPU クロック : 3.00GHz • GPU: NVIDIA Quadro P1000 • ビデオキャプチャ : DVI-D 入力 , 1920×1080 60fps 非圧縮録画可能 (video4linux, Ubuntu 16.04 サポート) • メモリ : 8GB 以上 • ストレージ : 32GB + 256GB 以上のパーティションが可能な SSD (または Cfast) (電力損失保護機能付き) • 外部ポート (USB×2、RS-232C×1) • DVI 出力 ×1: 1920×1080 • 内蔵スピーカー
OS	Ubuntu 16.04
NVIDIA ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> • NVIDIA Graphic Driver 396 • CUDA Toolkit 9.2 for Linux Ubuntu 16.04 x86_64 and Patch 1 • cuDNN 7.4.2 for CUDA 9.2
モニター	<ul style="list-style-type: none"> • 解像度 : FullHD (1920×1080) • リフレッシュレート : 60Hz、DVI 接続できること。

<汎用コンピューター仕様 2 >

パーソナルコンピューター	<ul style="list-style-type: none"> • CPU: Intel Xeon E3-1505M (Intel Quick Sync Video に対応) • CPU クロック : 3.00GHz • GPU: NVIDIA Quadro P1000 または T1000 • ビデオキャプチャ : DVI-D 入力、1920×1080 60fps 非圧縮録画可能 (video4linux、Ubuntu 22.04 サポート) • メモリ : 8GB 以上 • ストレージ : 32GB + 256GB 以上のパーティションが可能な SSD (または Cfast) (電力損失保護機能付き) • 外部ポート (USB×2、RS-232C×1) • DVI 出力 ×1: 1920×1080 • 内蔵スピーカー
OS	Ubuntu 22.04

NVIDIA ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> • NVIDIA Graphic Driver 535 • CUDA Toolkit 12.0 for Linux Ubuntu 22.04 x86_64 and Patch 1 • cuDNN 8.9.6 for CUDA 12.0
モニター	解像度 : Full HD (1920×1080) リフレッシュレート : 60Hz、DVI 接続できること

参考

- IEC60601-1 または IEC 62368-1 規格に適合したパーソナルコンピューター、モニターを使用してください。
- 動作保証環境に関しては将来予告なしに変更することがあります。

6.3 保証とアフターサービス

6.3.1 アフターサービス

- (1) 調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- (2) それでも具合の悪いときはサービスへ
営業所または、お買い上げの代理店のサービス窓口にご相談ください。
- (3) 保証期間中の修理は
無料修理規定に基づいて修理させていただきます。
保証期間は、お買い上げ日から1年です。
次の場合は保証の対象となりませんので、ご了承ください。
イ. 火災、風水害などの天災による損傷
ロ. お取り扱い上の不注意または操作の誤りによる機能障害および故障
ハ. 弊社関係外で修理または改造されたもの
- (4) 保証期間後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
サービス窓口にご相談になるときは、次のことをお知らせください。

型 名 :

製造番号 ※ :

故障の状況 : できるだけ詳しく

購入年月日 :

参考

- 製造番号は、取扱説明書のバインダーに記載されています。

製品のお問い合わせ窓口について

製品のお問い合わせ先

電話番号： **0570-02-7007** (ナビダイヤル)

富士フイルムメディカル株式会社

〒106-0031 東京都港区西麻布二丁目 26 番 30 号

電話番号：03-6419-8045

添付文書閲覧用コード

内視鏡検査支援プログラム
EW10-EG01



(01)04547410477122

専用アプリで上記のコードを読み取ることで、PMDA の Web サイトに掲載されている本製品の添付文書を確認できます。

製造販売業者 **富士フイルム株式会社**
〒258-8538 神奈川県足柄上郡開成町宮台798番地